

展示構成 - 近世の城の歴史から、平和な世における城の役割を考える

I. 近世の城と城下町 — 徳川家康の目指した国づくり

天下普請で造られた江戸城・城下町を概観することにより、慶長年間(1596年～1615年)の近世城郭と都市プランをひも解きます。



▲備前国岡山城絵図(国立公文書館蔵)

II. 国宝になった城 松江城

近世城郭最盛期を代表する現存天守として国宝となった松江城。その城下町形成から城づくりまで、松江の礎を築いた人物などととも紹介します。



▲松江城天守

III. 新発見「江戸始図」 — 松江に残る諸国の城図

徳川家康築城の江戸城を描いた「江戸始図」。この城図を含む松江に残る諸国の城図を紹介します。



▲江戸始図

IV. 天下人の城と城下 — 謎解き「江戸始図」

「江戸始図」をもとに、徳川家康が江戸城と城下町を形成した経過を、発掘成果などによってひも解きます。



▲江戸城本丸出土花瓶(復元)

V. 平和の城 江戸城

平和な世の到来のもと、三代将軍徳川家光が行った江戸城の拡張。本丸御殿の構造を通して、軍事要塞から政治の場へ推移する近世城郭を紹介します。



▲江戸城本丸御殿大広間障壁画(東京国立博物館蔵)

VI. 終章 江戸における松江藩の足跡

大名茶人、松平不昧が松江藩の江戸大崎(現品川区)の下屋敷に作った茶苑など、江戸における松江藩の足跡を紹介します。



▲大崎御屋敷分間惣御絵図面

関連イベント - 江戸城と松江城の歴史と構造を、その研究の第一人者が解説

1 文化財めぐり

将軍の城であり、近世最大の城郭であった国特別史跡の江戸城跡を、発掘調査を担当している区学芸員の案内を聞きながら散策します。

— いずれも —

定員 30名(抽選)

申込み 10月15日(日)(消印有効)までに往復ハガキ(8面記入例参照)で問合せ先へ。なお、①と②を重複して申し込むことはできません。

■江戸城登城ウォーク①

とき 11月3日(金・祝)13時30分～16時

場所 集合＝桜田門(皇居外苑1)→二重橋→大手門

→皇居東御苑(下乗門・中の門・富士見多間・本丸天守台・北桔橋門)→解散

講師 後藤宏樹(千代田区教育委員会)

■江戸城登城ウォーク②

とき 11月4日(日)13時30分～16時

場所 集合＝北桔橋門先乾 濠小公園(千代田1-1)

→皇居東御苑(天守台・汐見坂・二の丸庭園・中の門・下乗門・大手門)→二重橋→日比谷公園→解散
※解散後、希望者に共同企画特別展(1面参照)の展示解説を行います。

講師 相場峻(千代田区教育委員会)



2 講座

歴史的資料から読み取れる、当時の江戸城や松江城の構造などを解説します。

日時・内容＝右表

会場 日比谷図書文化館地下1階日比谷コンベンションホール(日比谷公園1-4)

費用 800円

定員 各講座200名(抽選)

申込み 1・2は9月30日(日)、3～5は10月15日(日)(いずれも当日消印有効)までに往復ハガキ(1講座1枚/8面記入例参照)で問合せ先へ。

その他 ①各講座開催前に、1時間程度の展示解説があります(当日直接会場へ)。

②参加者全員に、「江戸始図」が印刷されたクリアファイルを差し上げます。

演題	とき	講師
1 江戸時代初期の江戸城と大名屋敷	10月10日(火)19時～20時30分	後藤宏樹 (千代田区教育委員会)
2 江戸城本丸御殿の建築	10月23日(月)19時～20時30分	小粥祐子氏 (東京都公文書館)
3 松江城天守と雛形	11月5日(日)14時～16時	山田由香里氏 (長崎総合科学大学教授)
4 家康の江戸城 — 「江戸始図」の歴史的意義 —	11月12日(日)14時～16時	千田嘉博氏 (奈良大学教授)
5 江戸の武家地景観 — 「江戸図屏風」をよむ — (日比谷カレッジ)	11月17日(金)19時～20時30分	波多野純氏 (日本工業大学名誉教授)

関連グッズを販売

この展示の開催に伴い、日比谷図書文化館1階のショップで、「江戸始図」が印刷されたクリアファイルや、江戸城・松江城に関する書籍などの関連グッズを販売します。

問合せ

日比谷図書文化館文化財事務室

☎ 3502 - 3348 FAX 3502 - 3361

✉ bunkashinkou@city.chiyoda.lg.jp 〒100 - 0012 日比谷公園1 - 4